



校長室の窓から

座間市立東原小学校（電話 2 5 3 - 3 1 4 5）

東原小キャラクター「かめっち」

早いもので1学期もまとめの時期に入っていきます。最後まで気持ちを引き締めて、充実した教育活動を進めていきたいと思えます。



大きな成長の場～ゲーム集会～

6月12日に児童会活動の「ゲーム集会」を行いました。6年生と集会委員の5・6年生が中心となって、様々な工夫されたゲームを企画・運営してくれました。全校児童が生き生きと楽しく過ごした2時間となりました。

それぞれのゲームコーナーでは、優しく声をかけたり、応援したりと6年生の活躍が光っていました。集会委員の5・6年生は、バスガイドさんのように1年生を案内してくれました。さすが高学年！という優しく頼もしい姿は、見ていて本当にうれしくなるものでした。



リハーサルについて、「思っていたより簡単ではなく、修正しなければいけない部分もあったので、しっかりと直したいです。」との6年生の声がありました。みんなが心から楽しむことができた陰には、6年生の「みんなに楽しんでほしい！」という最高学年としての思いと努力があります。人が見ているときに頑張ることも大切ですが、見えないところで、誰かのためにたくさん努力できることはとても素晴らしいことです。

「誰かのために動くことにやりがいがあると感じてくれていたら、行った価値がさらにあがると思います。」と6年生の先生のコメントがありました。6年生は、先生の思いも受け止め、「誰かのために動くやりがい」をこれからの様々な場につなげていくことができていると思います。そんな6年生の姿を見た下級生にも伝わっていくと思います。

当日について、6年生の次のようなコメントがありました。「今日はゲーム集会でした。僕はタグ取りのチームでずっと走りっぱなしで疲れました。でも、終わった後の1～5年生の顔を見ると、とても元気になりました。」「1年生が目をキラキラさせながらこっちにきました。その姿がとてもかわいかったです。」時間をかけて話し合い、計画を立てていった経験は、6年生の心を大きく成長させてくれたと思いました。

今、6年生の教室の近くには、下級生からのお礼の手紙がたくさん掲示されています。「もぎもぎふる一つがたのしかったです。もっとやりたいです。」「みずしゃてきがたのしかったです。じゅんびしてくれてありがとうございます。」「わたしたちが6年生になったときも、6年生みたいなゲームを作りたいです。」「みんな親切でやさしかったし、ルールの説明や言葉の説明の仕方もうまかったです。来年は、自分たちがやる番です。今の6年生のようにみんなを楽しませたいです。」東原小で大切にしたい「感謝の気持ち」があふれていました！